

東北大学史料館

歴史ある学府を今に伝える



東北大学片平キャンパスの正門をくぐり、真すぐ進むと見えてくる和洋折衷の瀟洒な建物が「東北大学史料館」。大正15(1926)年、当時東北帝国大学技師であり、戦火で失われた瑞鳳殿の再建を手がけたことでも知られる小倉強による設計で、図書館として完成しました。現在は大学の多岐にわたる資料を保存する施設として広く一般に公開。日本初の女子大学生誕生に関する資料や有名な文学者魯迅に関する展示など、興味深い資料から大学の歴史を知ることができます。

CHECK 1 発見!魯迅の成績表

大学の前身である旧仙台医学専門学校に留学生として1年半在学していた魯迅。1学年時(1905年)の試験の成績表が残されています。解剖学だけが丁(落第点)。生涯恩師と慕い、小説「藤野先生」にも描かれた解剖学教授・藤野野九郎との関係が生まれたのは、試験の成績がきっかけだったのかもしれない。

仙台市青葉区片平2-1-1 東北大学片平キャンパス内
☎ 022-217-5040 営業 10:00~17:00(12:00~13:00は閲覧室休み)
休 日曜、祝日、大学の夏期休業日 入館無料

どなたでも気軽に、自由にご覧いただける大学の史料館です。片平キャンパス地区は2017年に都市景観大賞「都市空間部門」で特別賞を受賞。史料館はじめ、歴史的建造物が保存・活用されているキャンパスの散策も楽しんでみてください。

准教授
加藤 諭さん



CHECK 2 エリートがもらった銀時計

中央に恩賜と刻まれた銀の懐中時計は、1918年頃まで旧帝国大学で首席などの成績優秀な卒業者に天皇からの贈呈品として授与されていた品。銀時計が送られた人は「銀時計組」と呼ばれ、出世間違いなしの「エリート中のエリート」でした。



CHECK 3 歴史的財産である建物

瓦葺の屋根にロマネスク調のデザインは大正後期に造られた大学施設としては意匠的にも珍しい。キャンパス内に残る旧仙台医学専門学校六号教室(魯迅の階段教室)などとともに登録有形文化財になっています。



ベル型で銅板葺きのシンボリックな塔屋



展示室は柱がなく、天井が高いのが特徴的



Smma
SENDAI MIYAGI MUSEUM ALLIANCE
仙台・宮城ミュージアムアライアンス

今行くべき旬なミュージアム

今年度から仙台・宮城ミュージアムアライアンスに仲間入りした東北大学史料館、東北大学植物園、そして今年度12月をもって、惜しまれつつも休業する福島美術館にクローズアップ。仙台の魅力を再発見できるミュージアムのトピックをご紹介します。

福島美術館

郷土の宝を地元の人に



CHECK 1 仙台を代表する実業家 福島禎蔵翁



美術館運営母体である社会福祉法人の創設者である福島禎蔵は文化だけでなくとどまらず、産業面でもさまざまな活動を行ってきました。困窮した東北の農民を救済するため地産地消のビール「フジビール」の製造販売や東洋刃物株式会社創設への支援、NHKの誘致などにも、惜しみなく私財を投じて支援。人々の生活と心の豊かさを願ってきた、魅力あふれる人物なのです。

仙台の実業家である福島禎蔵(1890~1979)が寄贈した伊達家旧藏品や美術工芸品など3000点を収蔵し、仙台・宮城の文化を紹介してきた福島美術館(1980年開館)。先代・先々代から受け継ぎ、人と人とのつながりや縁、作家を支援する名目で集められた絵画や書は後世に伝えていきたいものばかりです。残念ながら建物の老朽化による取り壊しが決まり、現在開催中の展覧会でいったん休業となること。再開時期・場所は未定となるため、福島家の居宅跡であった現在地でコレクションが見られるのは12月迄。地元の人が遺し、愛してきた品々をお見逃しなく。

仙台市若林区土樋288-2
☎ 022-266-1535 営業 開館期間中の9:00~16:30
休 展示替期間、日曜、月曜 ※臨時休館を設ける場合あり
入 一般400円、大学・専門学校生・70歳以上300円、高校生以下・障がい者の方無料 5台あり

CHECK 2 福島禎蔵が愛したコレクション

これまで年3回、コレクションから60~70点ずつ紹介してきた展覧会。今年度は「休業まで少しでもたくさんものをたくさんの人に見てもらいたい」と全8期のテーマで展示が行われます。福島禎蔵の私財を社会へ還元する懐の深さ、郷土への愛をコレクションから感じてみてください。



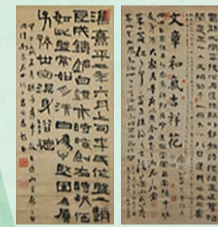
第5期 9/4(火)~9/22(土) 「遠忌300年 仙台藩4代藩主 伊達綱村と黄檗宗」

幼くして藩主となった伊達綱村が帰依した黄檗宗。墨蹟(高僧によって書かれた書)などの関連資料を展示。

福元隆瑞筆「書 竹欄午風涼」

第6期 10/2(火)~10/20(土) 「文房四宝~書・墨・硯の魅力」

筆、墨、硯、紙は文房具の4つの宝。書家のさまざまな書風や道具の美をお楽しみください。

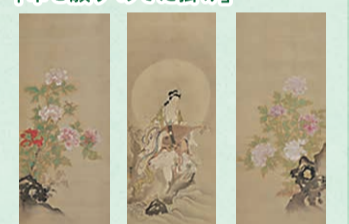


▲中林悟竹書「書 横手道中臨書」

第7期 10/30(火)~11/17(土) 「みんなが見たい!この作品」

来館者からの投票で選ばれた展示作品を一堂に紹介。展示作品は9月8日(土)に発表。

第8期 12/4(火)~12/22(土) 「幸せ願うめでた掛け」



▲伊達綱宗筆「弁財天社丹図」

※各展示期間中ギャラリートークや落語、ミニ個展などのイベントも開催。詳細は美術館HPをご参照ください。(仙台 福島美術館)・検索

美術館のコレクションは重文や国宝級ではありませんが、どこか懐かしく、心があたまる地元ゆかりの優品ばかり。衣食住だけでは得られない、心が豊かになる文化を遺そうとした人がいたことを、たくさんの人に知っていただきたいと思います。

学芸員 尾暮まゆみさん



東北大学植物園

これぞ杜の都・都会のオアシス



CHECK 2 史跡にも注目

1287年に建てられた「蒙古の碑」は陸奥の国司のために建てられた供養塔。隣にある「正安の碑」とともに、子どもの百日咳を治す霊験があるとされています。すぐ近くには5代藩主伊達吉村が建てた茶室「残月亭」の跡も。

CHECK 3 冬虫夏草を探せ!



漢方としても知られる冬虫夏草は昆虫に寄生したキノコ。展示ホールではさまざまな種類の冬虫夏草コレクションを見ることができます。夏には左図園内MAP(A)と(B)の間にある石段から出てくることもあるので探してみよう。

仙台の街のすぐ隣にある大自然は伊達政宗が遺してくれた大切な遺産です。豊かな自然を楽しみながら、街の喧騒を離れて、のんびりと散策をしてみたいかがでしょうか?。

助教
大山幹成さん



CHECK 1 樹齢300年を超える杉

伊達政宗が死去し、二の丸造営が開始された頃に植えられたと考えられる、仙台城二の丸杉並木。27本の杉が現存。本館エントランスホールでは樹齢を調査した切り株を展示しています。



絶滅が危惧される植物が見られます。湿地の奥にはヨシの群生も

東北大学植物園 MAP

